

世界初! “軽トラカスタマイズ”のためのバイブル。

ぶんか社ムック
平成27年5月30日発行

VOL.3

[軽トラ・カスタムマガジン]

軽トラ CUSTOM Magazine



己の信念に従い
カスタムを楽しむ
軽トラ信者急増中!



注目の「アゲトラ」で
“男”を上げる!



愛車をもっと美しく!!
キラキラパーツ大捜査



初代!

HIJET TRUCK CUSTOM

スタイルUP

ハンドリング改善・実用性向上まで

いいこと尽くめ

車高調導入術!



うちら夫婦で軽トラ乗り!

軽トラ夫婦の
軽トラLIFE



SUZUKI **CARRY** T52



ポイントを押しえたしっぽりスタイル!

T52キャリイにエブリイのフロントバンパーを移植。オーバーフェンダー（ハロースペシャル製）+エボリューション03（8.5J）+ひっぱりで、見事なまでの「しっぽり」スタイルを表現した。車高はノーマルのままなので、直ぐにでも真似できるのはうれしい。



60mmワイドオーバーフェンダーを前後に装着。車幅が変わるので白ナンバーに変更済み。Red-Kは構造変更のスペシャリストでもあるので、こういったカスタムの相談もお任せ。



キーワード!



エボリューション03（8.5J）に、ヨコハマ・ECOS（145/65R15）を組み合わせて、見事なしっぽりを完成させた。組み合わせるタイヤは、安全性を考慮し、国産タイヤがベスト。

軽トラのスベシヤルシヨッフやメーカーは、全国的に見ると西高東低の傾向が強い。そんな状況だからこそ、関東エリアで本気で軽トラに取り組み始めたのが、千葉にある「本気のオイル交換屋」と自ら謳うレッドケイだ。その本気のクルマ造りを紐解いてみよう。

優雅さを醸し出す
新作の10スポークが登場!

エポリッシュシリーズの第4弾が、このStyle-S。5スポークが二重になって形成された10スポーク形状は見事な立体感を作り出す。軽トラにベストマッチするサイズは間違いなし。サイズは4.5J×14 +45で、組み合わせるタイヤサイズは155/55R14。カラーはレッド。

EXTERIOR
のキモ
ここに
注目!



Produced by Red K (<http://redk-spl.p1.bindsite.jp/>)



話題の
CUSTOMSTYLE
決定版

鮮烈なカラーリングがトレードマークのレッドケイ。エンジンのOHやチューニング、カスタムオーディオやワンオフパーツの製作など、ハードなカスタマイズも自信を持って取り組むが、「メインは本気のオイル交換屋」と言いきるのは関係ない。聞けば「クルマの各部オイルは、人間の血液と同じ。いくら高価なパーツを組み込んでも、その性能を引き出すには常日頃からオイル系のメンテナンスが一番大切ですよ」と力説する。それは、チューニングカーだけでなく軽トラも同じ。むしろエンジンオイルの容量が少ないからこそ、マメな交換が必要と言える。

そんなレッドケイが軽トラにオススメするパーツは、エポリッシュという名のオリジナルホイール群。注目ポイントは艶やかな真紅の色

使用で、ノーマル車両に組んだだけでスタイルが一新する。オーバーフェンダーの有無に合わせ、ジャストサイズをオーダーできるのもポイントだ。加えてレッドケイの得意とするのが「しっぱり」スタイル。軽トラに深リムといった、不可能を可能にしてしまう高い技術力も兼ね備えているので、オンリーワンのスタイルを実現できる。

Red K

レッドケイ

“个性的かつスタイリッシュ!” それが RED K コーデ

SUZUKI CARRY T52

ありそうで、ない! 大径&しっぱり仕様



オーバーフェンダーなしでキワキワのスタイリングを追求! ホイールサイズは18インチ! 右のT52と同様にバンパーをエブリイ用に交換し、ボディは明るめのレッドにオールペイント。ホイールとカラーコードで一体感が生まれている。



オリジナルのステンレスマフラーを採用。後ろからよく見える部分なので、リアスタイルの視覚的なドレスアップ効果も高い。



オリジナルホイール・エポリッシュSC4を装着。ツライチとするために、フロント6J(+28)、リア6J(+45)と、前後でインセットを調整している。ちなみにタイヤはNANKANGの超偏平(165/35R18)を選択し、僅かではあるが、しっぱっている。



鳥居には実用性を高めるアイテムとしてワークシートを追加。実用性が高くなるだけでなく、赤色を統一した



シートを閉かせることで装着する。で美しく仕上げるのが